

(別添資料1)

火薬類の取扱いと発破作業について

1. 発破作業の流れ

当工場の発破作業の概略は、下図のとおりである。

なお、火薬類の注文については、基本的に前日の夕方と当日のお昼前に火薬商に注文し、午前と午後の2回（場合によっては3回/日）発破を行う。

	項目	作業内容
①	穿孔作業	切羽の状態により、発破パターン（孔長・孔間隔・最小抵抗線・本数）を計画し、クローラードリルで削孔する。
②	火薬類の注文	発破パターンと削孔の穴の状態（水の有無等）から、火薬の種類と使用量を決定する。 ■火薬銃砲店（火薬商）へ注文する。
③	取扱所	火薬商から火薬を受け入れ、発破場所及び火工所へ分別搬出する。
④	火工所	親ダイを作成する。（起爆薬とする含水爆薬に電気雷管を装着）
⑤	装薬作業 点火作業	削孔した穴に火薬類を装薬し、電気雷管の脚線を結線する。 周囲の作業員を退避させて、安全を確認し点火・起爆する。
⑥	残火薬	残火薬がある場合は、火薬商に連絡し当日返却する。 ※火薬庫が無い場合、工場内に保管しない。



